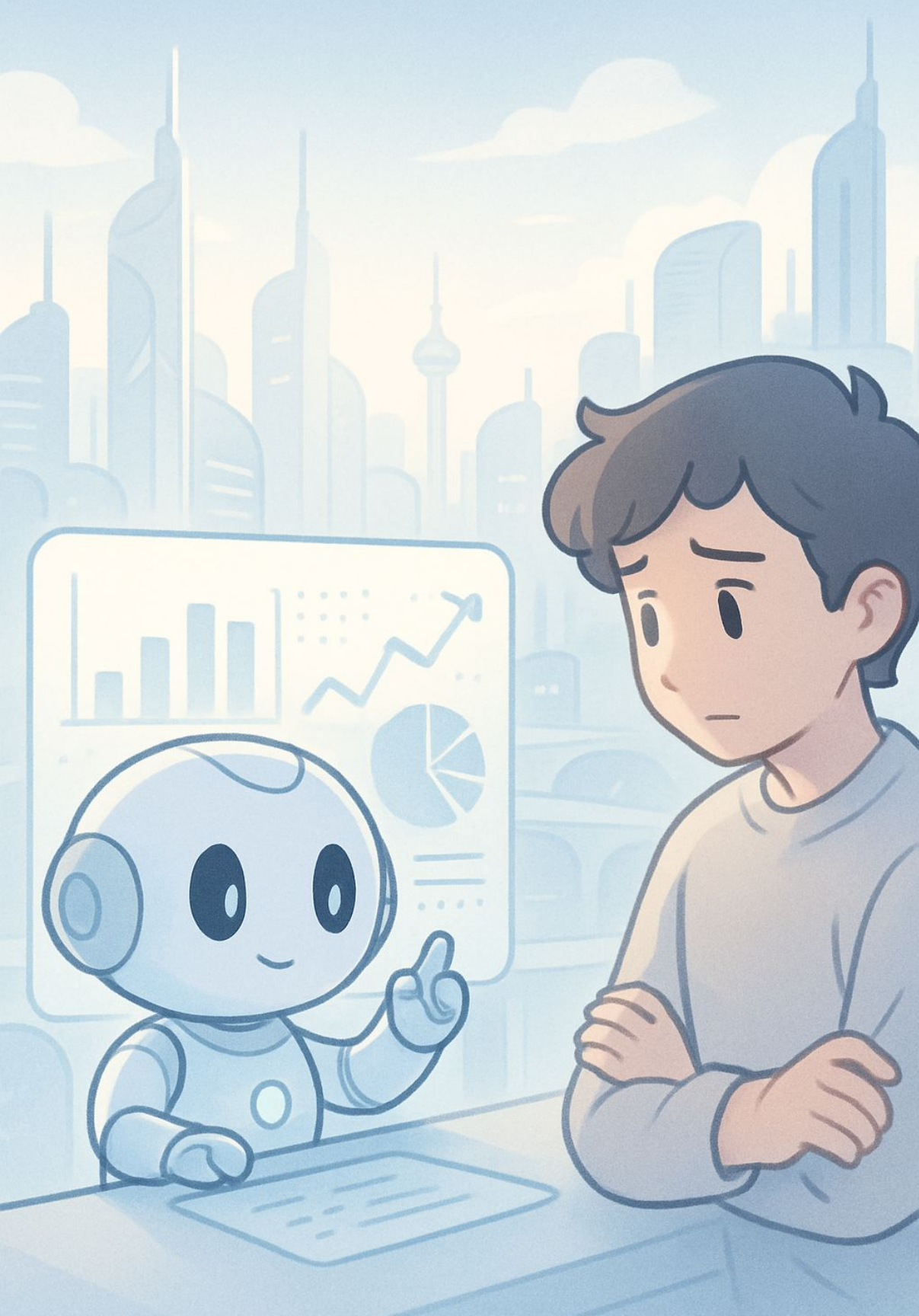




AI講座 第9回

ーパート4ー AIとデータ

未来の可能性と現在の留意点

AIとデータの未来について考えてみましょう。

可能性と慎重さのバランスが重要です。

定着採用株式会社 長谷川 洸

データの可能性と留意点 - 未来の話

効率化による蓄積

AIによる効率化でデータが蓄積されます。ケア改善や経営判断に役立つ可能性があります。

慎重な活用

現時点では慎重が必要です。プライバシーへの最大限の配慮が不可欠です。

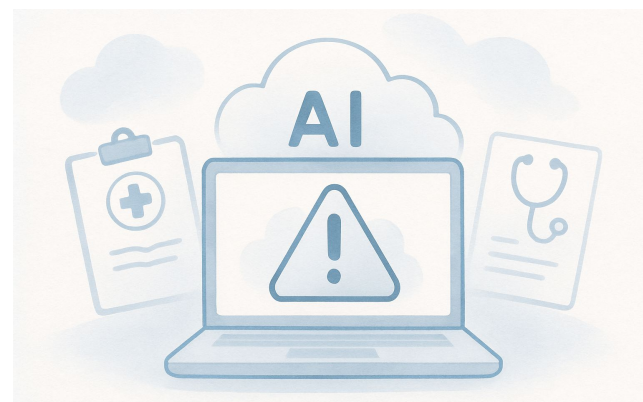


データの可能性と留意点 - 理由と限界



高い機密性

訪問看護のデータは極めて機密性が高いです。不適切な利用は絶対に許されません。



AIの現在の限界

現在のAIは統計的分析の専門ツールではありません。限界を理解する必要があります。



ケア傾向の把握

将来的には、データを活用してケア傾向の把握や業務改善点の発見が可能になります。



教育への活用

データを匿名化することで、スタッフ教育の材料として活用できるかもしれません。



【重要】留意事項



プライバシー最優先

個人情報保護法や関連ガイドラインを遵守。倫理的配慮が不可欠です。



AIの限界

文章作成支援が主な役割。臨床データの高度分析能力は限定的です。



人間の判断

データの傾向があっても、最終的なケア判断は専門職が行います。



現実的なステップ

目の前の業務効率化

まずは現在の業務を効率化することに注力します。

スタッフ負担軽減

効率化で生まれた時間でスタッフの負担を軽減します。

ケアの質向上

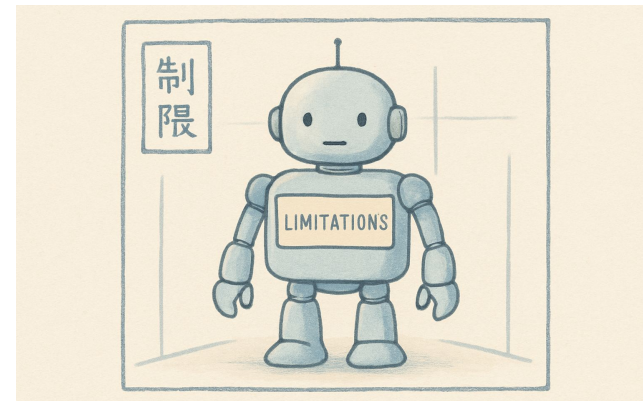
最終的にケアの質向上を目指します。これが現実的なステップです。

データ活用は慎重に、倫理観を持って



プライバシー保護

最優先事項として常に意識すべきです。個人情報の取り扱いには細心の注意を払いましょう。



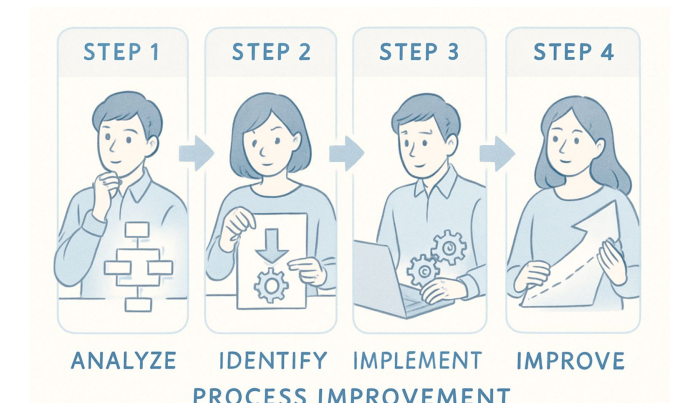
AI限界の理解

過度な期待は禁物です。現在のAI技術には明確な制約があることを認識しましょう。



人間の判断

最終決定は専門職が担当します。データはあくまで判断材料の一つに過ぎません。



現実的なステップ

業務効率化から始めましょう。小さな改善の積み重ねが大きな変化を生み出します。

第9回パート4 まとめ

①データ活用の可能性

将来的にケア改善に役立つ可能性があります。
ただしプライバシー保護が最優先です。

②AIの限界を理解

現在のAIの限界を理解し、過度な期待は禁物です。
最終判断は人間が行います。

③現実的な取り組み

まずは目の前の業務効率化とケアの質向上に注力！

